

問題

問

1

正解

完璧

直前
CHECK

システム監査技法である ITF (Integrated Test Facility) 法の説明はどれか。

- ア 監査機能をもったモジュールを監査対象プログラムに組み込んで実環境下で実行し、抽出条件に合った例外データ、異常データなどを収集し、監査対象プログラムの処理の正確性を検証する方法である。
- イ 監査対象ファイルにシステム監査人用の口座を設け、実稼働中にテストデータを入力し、その結果をあらかじめ用意した正しい結果と照合して、監査対象プログラムの処理の正確性を検証する方法である。
- ウ システム監査人が準備した監査用プログラムと監査対象プログラムに同一のデータを入力し、両者の実行結果を比較することによって、監査対象プログラムの処理の正確性を検証する方法である。
- エ プログラムの検証したい部分を通過したときの状態を出力し、それらのデータを基に監査対象プログラムの処理の正確性を検証する方法である。

問

2

正解

完璧

直前
CHECK

インシデントの究明やシステム監査にも利用できる、証拠を収集し保全する技法はどれか。

- ア コンティンジェンシープラン
- イ サンプルング
- ウ デジタルフォレンジックス
- エ ベンチマーキング



問 1

イ

ITF (Integrated Test Facility) 法は、統合テスト法・ミニカンパニー法と呼ばれるテスト技法である。正規の適用業務中にテストデータを用いて、システム機能の完全性・正確性を検証する方法である。

ア：(組込) 監査モジュール法の説明である。

ウ：並行シミュレーション法の説明である。

エ：トレーシング法の説明である。



問 2

ウ

デジタルフォレンジックス：パソコンやサーバなどのコンピュータ機器が犯罪や裁判で証拠となりえるときにデータを保全し賠償などに備えることや、内容を分析し、鑑定するための手段や技術である。

コンティンジェンシープラン (緊急時対応計画, 非常事態対応計画)：企業内の全システムを復旧させる必要はない。重要度 (緊急事態発生時予想損害額), 対応コストを考慮して対象を選択し、有効性の高い対策を検討する。

サンプリングリスク：サンプル抽出時に起因するリスクで、抽出したサンプルが評価結果に誤った結果をもたらすリスクである。

ベンチマーキング：基準となる指標などと比較して監査結果を抽出し、改善していく方法である。システム監査基準等を用いる場合がある。

問題

問 3

正解

完璧

直前
CHECK

A社のシステム開発課長の指揮監督下でB社のプログラマが開発業務を担当する状況において、監査報告書に記載された指摘事項として、適切なものはどれか。

- ア B社が一般労働者派遣事業の許可を得ていない場合、派遣契約はできないので、指揮命令系統は変えずに請負契約に改める必要がある。
- イ 請負契約であり、B社に対してはコーディング業務に限定して発注する必要がある。
- ウ 請負契約であり、著作権の帰属があいまいになるので、法人著作である旨と著作者人格権とを、A社の権利として、契約条項に記載する必要がある。
- エ 派遣契約であり、B社のプログラマがA社の著作権を侵害した場合の措置に関する規定を設けておく必要がある。

問 4

正解

完璧

直前
CHECK

システム監査において、ペネトレーションテストが最も適合するチェックポイントはどれか。

- ア オフィスへの入退に、不正防止及び機密保護の物理的な対策が講じられているか。
- イ データ入力漏れなく、重複なく正確に行われているか。
- ウ ネットワークの負荷状況の推移が記録、分析されているか。
- エ ネットワークへのアクセスコントロールが有効に機能しているか。

問 5

正解

完璧

直前
CHECK

給与計算業務を外部に委託している場合に、受託会社が提供する業務における、委託会社の財務報告に関わる内部統制の有効性が、外部の監査人によって保証されていることを確認できるものはどれか。

- ア 一般財団法人日本情報経済社会推進協会 ISMS 認証証明書
- イ 一般財団法人日本情報経済社会推進協会 プライバシーマーク登録証
- ウ 特別民間法人日本公認会計士協会 監査・保証実務委員会実務指針第86号に基づく保証報告書
- エ 独立行政法人情報処理推進機構 JISEC 認証報告書

**問3****工**

派遣契約：派遣労働者が、派遣先監督者の指示の下に作業する形態。

請負契約：業務委託先企業が業務委託元企業との業務委託契約に基づき、一定の業務を請け負う形態。要員は特定されず、業務委託先要員が業務委託元監督者の指示の下に作業することはない。昨今、実質派遣の「偽装請負」が、社会問題となっている。

ア：一般労働者派遣事業の許可を得ていなくても、特定労働者派遣事業として届け出ていれば派遣契約は可能である。

イ、ウ：B社プログラマ（派遣労働者）がA社システム開発課長（監督者）の指示の下に作業する形態は、「請負契約」ではなく「派遣契約」である。

エ：著作権侵害対策として、規定しておくのは、適切である。

**問4****工**

ペネトレーションテストは、実際にネットワークを介してサイトを攻撃し、不正侵入できるかどうかを検査するテストである。アクセスコントロールが適切な場合は、予定されるアクセスのみが可能という結果になる。

**問5****ウ**

特別民間法人日本公認会計士協会 監査・保証実務委員会実務指針題86号に、受託業務に係る内部統制の保証報告書の目的、実務指針の詳細が記載されている。実務指針の中に受託会社確認報告書があり外部の監査人によって保証されていることを確認できる。

ISMS (Information Security Management System)：情報セキュリティマネジメントシステムとは、企業が情報を適切に管理し、機密情報を守るための仕組みである。ISMS 認証は情報セキュリティに関する内容のため、取得している場合でも内部統制の有効性が保証されるものではない。

プライバシーマーク制度：経済産業省の「個人情報保護ガイドライン」に準拠して個人情報の取り扱いを適切に行っている民間事業者に、プライバシーマークの使用を認める制度である。

JISEC (Japan Information Technology Security Evaluation and Certification Scheme/ITセキュリティ評価及び認証制度)：IT関連製品のセキュリティ機能の適切性・確実性を、ISO/IEC 15408に基づいて第三者機関が評価し、その評価結果を認証機関が認証する制度である。

問題

問 6

正解

完璧



直前
CHECK

システム監査における監査証跡はどれか。

- ア 監査業務の全過程において、監査人が収集及び作成した資料である。
- イ 監査対象システムの入力から出力に至る過程を追跡できる一連の仕組みと記録である。
- ウ 監査人が監査証拠を入手するために実施する監査技術の組合せである。
- エ 監査人が監査手続を実施して収集した資料、及び監査人の判断に基づいて評価された資料である。

問 7

正解

完璧



直前
CHECK

組織体が情報システムにまつわるリスクに対するコントロールを適切に整備・運用する目的として、“システム管理基準”に示されているものはどれか。

- ア システム監査業務の品質を確保し、有効かつ効率的に監査を実施するため
- イ 情報システムが、組織体の目的を実現するように安全、有効かつ効率的に機能するため
- ウ 情報セキュリティに係るリスクのマネジメントが効果的に実施されるよう、リスクマネジメントに基づくコントロールの整備・運用の状況を評価するため
- エ リスクに対するコントロールをシステム監査人が評価し、保証又は助言を行い、ITガバナンスの実現に寄与するため

**問6****イ**

監査証跡とは、情報システムの処理内容や処理過程を追跡した内容を時系列に記録したものである。例えば、OSやアプリケーションのログは監査証跡として有効なデータとなる。

ア、エ：**監査証拠**を説明したものである。

ウ：**監査手続き**を説明したものである。

**問7****イ**

システム管理基準（前文）：組織体が情報システムにまつわるリスクに対するコントロールを適切に整備・運用する目的として次の項目をあげている。

- ・情報システムが組織体の経営方針及び戦略目標の実現に貢献するため。
- ・情報システムが組織体の目的を実現するように安全、有効かつ効率的に機能するため。
- ・情報システムが、内部または外部に報告する情報の信頼性を保つように機能するため。
- ・情報システムが、関連法令、契約または内部規程等に準拠するようにするため。

システム監査基準（目的）

- ・システム監査基準の品質を確保し、有効かつ効率的に監査を実施する。
- ・リスクコントロールがリスクアセスメントに基づいて整備・運用されているかをシステム監査人が評価し、保証・助言を行い、ITガバナンスの実現に寄与するため。

情報セキュリティ監査基準（目的）：情報セキュリティに係るリスクマネジメントが効率的に実施されるよう、リスクマネジメントに基づくコントロールの整備・運用の状況を評価する。

問題

問 8

正解

完璧

直前
CHECK

システム監査で利用する統計的サンプリング法に関する記述のうち、適切なものはどれか。

- ア サンプルの抽出に無作為抽出法を用い、サンプルの評価結果に基づいて母集団に関する結論を出す場合に、確率論の考え方をを用いる。
- イ 抽出されるサンプル数は、統計的サンプリングと非統計的サンプリングの選択を決定付ける重要な判断基準である。
- ウ 抽出するサンプルを統計的に決定する手法ではなく、サンプルに対して評価手続を実施した結果を統計的に推定する方法である。
- エ 無作為抽出法を用いるだけでなく、システム監査人が経験的判断を加味して、サンプルを抽出する。

問 9

正解

完璧

直前
CHECK

外部委託に関するシステム監査において、経営破綻^{たん}などによってソフトウェア資産のメンテナンスが受けられなくなることを防ぐために確認すべき契約項目はどれか。

- ア 開発したソフトウェアの瑕疵^{かし}担保責任条項
- イ 外部委託先のサービスを評価するためのSLA条項
- ウ 責任の所在を明確にするためのソフトウェア開発の再委託禁止条項
- エ ソフトウェアのソースコードなどを第三者へ預託するエスクロウ条項

問 10

正解

完璧

直前
CHECK

“ソフトウェア管理ガイドライン”への準拠性を確かめることを目的とした監査はどれか。

- ア 情報システムに対する自然災害、機器の障害、故意や過失などのリスクを未然に防止する対策事項の監査
- イ 情報システムの信頼性と安全性を確実に具備する対策事項の監査
- ウ ソフトウェアの違法複製を防止・発見する対策事項の監査
- エ ソフトウェアの脆弱性^{ぜい}関連情報の取扱いに関する対策事項の監査



問 8

ア

統計的サンプリングの原則は、無作為抽出である。サンプリングは監査テーマおよび目的から、母集団定義、許容誤差水準決定、サンプル数算出・抽出法（単純無作為、系統（等間隔）抽出、多段抽出、層別抽出等）を選択し、母集団より乱数表等を用いて標本をランダムに抽出する。

▼
解答

問 9

エ

ソフトウェアのエスクロウ条項は、ソフトウェア資産の保有会社（購入と考えればよい）が、ソースコード保有会社の倒産によるリスクを避けるために行う契約である。

ソフトウェア資産を購入した会社は、ソースコードを保有していない場合、ソフトウェアの提供先が倒産することで保守を受けることができなくなり、別途ライセンスを購入する等の損失となる可能性がある。

契約項目のエスクロウ条項は、ソースコード保有会社が、ソースコードを第三者へ委託し、万が一ソースコード保有会社が倒産した場合には、委託先の第三者からソフトウェア保有会社へ提供しメンテナンスを継続することを可能とすることである。



問 10

ウ

ソフトウェア管理ガイドラインは、ソフトウェアの違法複製行為、違法複製品などの使用を防止し、ソフトウェアを適切に購入・使用するためのガイドラインを示すことによって、ソフトウェアの適正な取引及び管理を促進することを目的にしている。

基本的事項として、「ソフトウェア管理者の任命と適切な管理体制の整備」、「ソフトウェア管理規則の策定」、「使用状況の監査」、「利用者に対する法令や仕様許諾契約の教育」がある。

問題

問 11

正解

完璧

直前
CHECK

金融庁の“財務報告に係る内部統制の評価及び監査に関する実施基準”において、“全社的な内部統制”としての“ITへの対応”に該当する評価項目はどれか。

- ア ITに係る業務の外部委託に関する契約の管理を適切に行っているか。
- イ 新たなシステムの導入に当たり十分な試験が行われているか。
- ウ 経営者は、ITに関する適切な戦略、計画などを定めているか。
- エ システムに障害が発生した場合、分析や解決などの対応が適切に行われているか。

問 12

正解

完璧

直前
CHECK

データ管理者（DA）とデータベース管理者（DBA）を別々に任命した場合のDAの役割として、適切なものはどれか。

- ア 業務データ量の増加傾向を把握し、ディスク装置の増設などを計画して実施する。
- イ システム開発の設計工程では、主に論理データベース設計を行い、データ項目を管理して標準化する。
- ウ システム開発のテスト工程では、主にパフォーマンスチューニングを担当する。
- エ システム障害が発生した場合には、データの復旧や整合性のチェックなどを行う。

問 13

正解

完璧

直前
CHECK

情報システムの設計のうち、フェールソフトの例はどれか。

- ア UPSを設置することによって、停電時に手順どおりにシステムを停止できるようにし、データを保全する。
- イ 制御プログラムの障害時に、システムの暴走を避け、安全に運転を停止できるようにする。
- ウ ハードウェアの障害時に、パフォーマンスは低下するが、構成を縮小して運転を続けられるようにする。
- エ 利用者の誤操作や誤入力を未然に防ぐことによって、システムの誤動作を防止できるようにする。



問 11

ウ

内部統制において、“ITへの対応”は、組織目標を達成するためにあらかじめ適切な方針及び手続きを定め、それを踏まえて、業務の実施において組織の内外のITに対して適切に対応することをいう。ITへの対応は、IT環境への対応とITの利用及び統制からなる。

IT環境への対応：組織が活動する上で必然的に関わる内外のITの利用状況のこと。組織目標を達成するために、組織の管理が及ぶ範囲においてあらかじめ適切な方針と手続きを定め、それを踏まえた適切な対応を行う。

ITの利用及び統制：組織内において、内部統制のほかの基本的要素の有効性を確保するためにITを有効かつ効率的に利用すること。内部統制のほかの基本要素と密接不可分の関係を有しており、一体となって評価される。



問 12

イ

データ管理者は、システムで必要とするデータベースの論理構造などを担当する。**データベース管理者**は、データベース管理システム（DBMS）の管理を担当する。したがって、ア、ウ、エに記述されている装置の管理やチューニング、障害対策などはデータベース管理者の業務である。



問 13

ウ

フェールソフトは、システムの一部が故障しても、システムが停止せずに一部の機能だけでも継続維持していく機能である。冗長化システムで一部故障しても縮退運転によりシステムを継続運転するものなどが該当する。

ア：フォールトトレランスの説明である。

イ：フェールセーフの説明である。

エ：フェールプルーフの説明である。

問題

問 14

正解

完璧



直前
CHECK

不正競争防止法で保護されるものはどれか。

- ア 特許権を取得した発明
- イ 頒布されている独自のシステム開発手順書
- ウ 秘密として管理している事業活動用の非公開の顧客名簿
- エ 秘密としての管理を行っていない、自社システムを開発するために重要な設計書

問 15

正解

完璧



直前
CHECK

公益通報者保護法に定められているものはどれか。

- ア 自主的な製品回収計画を監督官庁に届け出することは、公益通報である。
- イ 社内のコンプライアンス窓口への通報は、公益通報ではない。
- ウ 派遣労働者は、派遣先企業の違法行為について通報を行うことができる。
- エ 労働組合や新聞社など、行政機関ではない社外の機関に通報することはできない。

問 16

正解

完璧



直前
CHECK

刑法の電子計算機使用詐欺罪が適用される違法行為はどれか。

- ア いわゆるねずみ講方式による取引形態のWebページを開設する。
- イ インターネット上に、実際よりも良品と誤認させる商品カタログを掲載し、粗悪な商品を販売する。
- ウ インターネットを経由して銀行のシステムに虚偽の情報を与え、不正な振込や送金をさせる。
- エ 企業のWebページを不法な手段で変造し、その企業の信用を傷つける情報を流す。



問 14

ウ

不正競争防止法：市場における競争が公正に行われるよう営業秘密の保護、信用の保護などを定めている。また、公正な競争を阻害する不正な行為や不法行為を禁止している。不正競争防止法で保護されるトレードシークレットは、秘密性、有用性、非公知性の三つの要件をみたすことが求められる。

ア：特許権は**特許法**で保護される。

イ：頒布されていることから、非公知性がみたされない。

ウ：秘密として管理されている有用な顧客名簿であり、公知されていないことから、トレードシークレットとして不正競争防止法で保護される。

エ：秘密として管理されなければならない。



問 15

ウ

公益通報者保護法は、公益通報をしたことを理由とする解雇の無効等並びに公益通報に関し事業者及び行政機関がとるべき措置を定めることにより、公益通報者の保護等を図る法律である。

公益通報とは、労働者が不正の目的でなく労務提供先等について通報対象事実が生じ又は生じようとする旨を通報先に通報することである。

正社員だけでなく、派遣労働者についても派遣先企業の違法行為を通報することができる。

ア：自主的な製品回収は、**製造物責任法**の範囲である。

イ：公益者通報保護対象となる。

エ：通報先は行政機関と限定するものではなく、社外の機関や、勤務先企業内で設置された通報先でも良い。



問 16

ウ

電子計算機使用詐欺罪は、電子計算機に虚偽の情報や不正な指令を与えて財産上不法な利得を得たり、他人に利得を与えたりする行為である。銀行のシステムに虚偽の情報を与え、違法な振込みを行うことがこれに該当する。

ア：ねずみ講は、**無限連鎖講の防止に関する法律**に該当する。

イ：**特定商取引に関する法律**「第12条 誇大広告の禁止」に該当する。

エ：**電子計算機損壊等業務妨害罪**に該当する。Webページの改造なく侵入のみの場合は、**不正アクセス禁止法違反**となる。

問 17

正解 完璧 直前
CHECK

金融商品に関する会計基準において、原則として時価を貸借対照表価額とするものはどれか。

- ア 受取手形、売掛金、貸付金などの債権
- イ 子会社及び関連会社の株式
- ウ 売買目的有価証券
- エ 満期保有目的の債券

問 18

正解 完璧 直前
CHECK

関係データベースのビューを利用する目的はどれか。

- ア DISTINCT指定、GROUP BY句及びHAVING句をもつ演算処理を独立させて、プログラムに単純化したデータ更新手段を提供する。
- イ 行や列を特定の条件で絞り込んだビューだけをアクセスさせることによって、基となる表のデータの一部を隠蔽して保護する手段を提供する。
- ウ データベースの物理的記憶構造の変更に影響されないように、アプリケーションプログラムに対して物理的データ独立性を提供する。
- エ 複数の表を結合したビューにインデックスを付与することによって、複数の表にまたがった高度な検索手段を提供する。

**問 17****ウ**

貸借対象表は、企業などが決算日現在で保有する資産と負債、その差額としての資本を一覧表にした報告書である。

売買目的有価証券は、時価が著しく下落したときは回復する見込みがあると認められる場合を除き、時価を持って貸借対照表へ記載する。

ア、イ、エ：債権、子会社、関連会社の株式は原価評価を行う。

**問 18****イ**

ビュー（仮想の表）は、関係データベースの操作言語であるSQLによって、一つ以上の表（ビュー）から任意のデータを選択し表すものである。

ビューを生成することで、複数の表に点在するデータを一つの表に仮想的にまとめることにより、処理や操作が容易になる。また、利用者の権限に応じてアクセスできるデータをビューによって管理することができるため、セキュリティが向上する。

問題

問 19

正解

完璧

直前
CHECK

関係XとYを結合した後、関係Zを得る関係代数演算はどれか。

X

学生番号	氏名	学部コード
1	山田太郎	A
2	情報一郎	B
3	鈴木花子	A
4	技術五郎	B
5	小林次郎	A
6	試験桃子	A

Y

学部コード	学部名
A	工学部
B	情報学部
C	文学部

Z

学部名	学生番号	氏名
情報学部	2	情報一郎
情報学部	4	技術五郎

- ア 射影と選択 イ 射影と和 ウ 選択 エ 選択と和

問 20

正解

完璧

直前
CHECK

ダイナミックDNS (DNS UPDATE) の説明として、適切なものはどれか。

- ア PCのIPアドレスが変わっても、そのPCには同じホスト名でアクセスできる。
 イ PCのホスト名が変わっても、そのPCには同じIPアドレスでアクセスできる。
 ウ ネットワークに接続されたPCの起動時に自動的にIPアドレスを割り当てる。
 エ ネットワークに接続されたPCの起動時に自動的にホスト名を割り当てる。

問 21

正解

完璧

直前
CHECK

ブルートフォース攻撃に該当するものはどれか。

- ア 可能性のある文字のあらゆる組合せのパスワードでログインを試みる。
 イ コンピュータへのキー入力を全て記録して外部に送信する。
 ウ 盗聴者が正当な利用者のログインシーケンスをそのまま記録してサーバに送信する。
 エ ブラウザとWebサーバの間の通信で、認証が成功してセッションが開始されるときに、Cookieなどのセッション情報を盗む。



問 19

ア

射影 (projection) : 表を構成する項目 (属性, 列) の中から, 特定の項目だけを取り出して新しい表を作成すること. 関係データベースにおいては, 表から特定の「属性」を取り出す関係演算.

選択 (selection) : 表の中から, 項目 (属性, 列) が一定条件を満足する行だけを取り出して新しい表を作成すること. 関係データベースにおいては, 表から条件に合った「組」を取り出す関係演算.

和 (union) : 表の中から, 属性項目が同じレコードを全て合わせる演算.
実行結果Zを得るには, 射影による列の取り出しと, 学部名の選択が必要である.



問 20

ア

ダイナミック DNS (DNS UPDATE) は, パソコンをネットワークに接続した時点でパソコンのホスト名と IP アドレスをネームサーバに自動収集して登録する機能をもつので, 人手による登録が不要となる.

PC のホスト名に対して, IP アドレスが変わっても動的に更新する機能がある.

例えば, ホスト名 xxx.yyy.com は, DHCP により IP アドレスが変更される可能性があるが, ダイナミック DNS を利用することで, IP アドレスが変わっても xxx.yyy.com へはアクセス可能となる.



問 21

ア

ブルートフォース攻撃とは, あらゆる文字を組み合わせたパスワードを用いて総当たりでログインを試みる手法である. 効率の悪い攻撃手法であるが, 時間をかけることでパスワードを見つけることが可能となる. そのため,ブルートフォース攻撃に対しては, 一定の回数ログインに失敗すると, アカウントをロックする方法が有効である.

ア: キーロガーに関する説明である.

イ: リプレイ攻撃に関する説明である.

ウ: セッションハイジャックに関する説明である.

問題

問 22

正解

完璧

直前
CHECK

Webコンテンツの作成に当たって、アクセシビリティを確保する観点から考慮すべきことはどれか。

- ア キーボードだけでも操作できるように、TabキーとEnterキーでリンクを選択できるようにする。
- イ どこに入力するかを分かりやすくするために、項目名の直後に入力欄を配置し、“(半角)”などの入力方法は入力欄の後ろに配置する。
- ウ 文字位置をそろえるために、単語の途中に空白を入れて調整する。
- エ 利用者がどこを誤ったか分かるように、入力エラーがあった項目名を赤色の文字に変更した入力画面を再表示する。

問 23

正解

完璧

直前
CHECK

共通フレーム2007における監査プロセスの目的はどれか。

- ア あるアクティビティのソフトウェア製品が、先行するアクティビティで決められた要求事項又は条件を満たしていることを確認する。
- イ 客観性及び独立性を保証された立場から、成果物及びプロセスが要求事項、計画及び合意に適合しているかどうかを判定する。
- ウ システム又はソフトウェア製品が、明確に意図した使用方法を満足していることを確認する。
- エ プロジェクトの管理レベル及び技術レベルの両面に対して、プロジェクト活動の状況及び成果物を評価する。

問 24

正解

完璧

直前
CHECK

ファイブフォース分析において、企業の競争力に影響を与える五つの要因として、新規参入者の脅威、パイアの交渉力、競争業者間の敵対関係、代替製品の脅威と、もう一つはどれか。

- ア サプライヤの交渉力
- イ 自社製品の品質
- ウ 消費者の購買力
- エ 政府の規制



問 22

ア

Webアクセシビリティとは、アクセスのしやすさを示すものである。誰もが利用しやすいWebページを作っていくことが目的である。年齢や身体条件などにかかわらず、Webにアクセスできるように、画像、テキスト、拡大、音声などを用いてWebコンテンツを作成するのが良いとされている。

▼
解答

問 23

イ

共通フレーム2007（SLCP-JCF 2007/Software life cycle process-Japan common frame）は、システム開発において、ユーザ（発注側）とベンダ（受注側）の双方に共通して利用する用語や作業内容を標準化するためのガイドラインである。プロセスとは、システム開発作業を役割の観点でまとめたものである。

監査プロセスは、客観性及び独立性を保証された立場から、成果物やプロセスが計画、合意内容に適合しているかどうかを判定する。



問 24

ア

ファイブフォース分析は、マイケル・ポーターが提唱した、「市場に存在する五つの競争要因」から、業界構造分析を行うフレームワークである。

ファイブフォース分析の主な要素は、①新規参入者の脅威、②バイヤの交渉力、③競争業者間の敵対関係、④代替製品の脅威、⑤サプライヤの交渉力、という観点から分析する。

問題

問 25

正解

完璧



直前
CHECK

新たに創造された知識を組織に広め、新たな暗黙知として習得することを、SECIモデルでは、どれに分類するか。

ア 共同化 (Socialization)

イ 表出化 (Externalization)

ウ 連結化 (Combination)

エ 内面化 (Internalization)



SECIモデルとは、個人の暗黙知を形式化し、共有することで組織としての知識想像力を高める考え方である。一橋大学大学院教授の野中郁次郎教授が提唱した考え方である。

共同化 (Socialization)：経験の共有などによって、暗黙知を獲得や伝達するプロセス

表出化 (Externalization)：得られた暗黙知を共有できるよう形式知へと変換するプロセス

連結化 (Combination)：形式知を組み合わせで新しい形式知を創造するプロセス

内面化 (Internalization)：新たに創造された形式知を個人が実践し、その知識を他の人が習得するプロセス